

林 務 課

ダニに注意！！

ここ数年、五島ではマダニ類及びツツガムシ類による感染症患者が毎年確認されており、注意が必要です。特にSFTS（重症熱性血小板減少症候群）に関しては、重症化すると死に至る可能性があります。そのため、森林作業等で山に入る際はダニ対策を講じた上で作業をするようご注意ください。

○ダニ等媒介感染症一覧

病 名	SFTS	日本紅斑熱	つつが虫病
潜伏期間	6～14日	2～8日	5～14日
症 状	発熱、消化器症状（食欲低下、嘔吐・下痢、腹痛）。重症化による死亡あり。	頭痛、発熱、倦怠感、発疹（紅斑が手足、掌等に出現）。	発熱、発疹、倦怠感、頭痛、刺し口近傍のリンパ節炎等。
そ の 他	西日本を中心に発生。5～8月に多く発症が見られる。	西日本に多く、春から秋に発生が見られる。	全国的に生息・発生。

○ダニ対策

- ・ 長袖・長ズボン、長靴、手袋等を着用し、肌の露出を控える。
- ・ 防虫スプレーを使用する。
- ・ 屋外活動後は家に入る前に外で服をはたく。
- ・ 帰宅後は入浴し、ダニに咬まれていないかを確認する。



※ダニに咬まれても痛みや痒みがあまりないため、必ず目で確認するようお願いします。

○もしダニに咬まれたら

ダニに咬まれた場合は無理に引き離さず、医療機関への受診をお勧めします。ダニ類の多くは、ヒトや動物に取り付くと、皮膚にしっかりと口器を突き刺し、長時間吸血しますので、無理に引き離すとダニの一部が皮膚内に残って化膿したり、ダニの体液を逆流させる恐れがあります。なお咬まれた後は数週間程度、体調の変化に注意し、発熱等の症状が現れた場合は医療機関を受診し、ダニ類に咬まれた旨を告げ、診察を受けてください。



ヤマアラシチマダニ



フタトゲチマダニ



アカツツガムシ

(写真提供：長崎県五島保健所)